



お年寄りも軍事教練・甲府市
昭和17年(1942)~20年
山梨日日新聞社「写真集 山梨百年」より



焼け跡を歩く母子
昭和20年(1945)9月
米国立公文書館提供

戦中・戦後のくらし

もつと知りたい!



千人針



入場無料

平成28年 11月30日〔水〕～12月8日〔木〕
午前9時30分～午後6時 ※初日は、9時30分からオープニングセレモニーを行います。

会場：山梨県立図書館 イベントスペース
所在地：甲府市北口2丁目8-1

- 〔主催〕 昭和館 「共催」 山梨日日新聞社 山梨放送
- 〔協賛〕 日本遺族会第2ブロック(山梨県遺族会 東京都遺族連合会 神奈川県遺族会 千葉県遺族会 埼玉県遺族連合会 茨城県遺族連合会 静岡県遺族会 群馬県遺族の会 栃木県遺族連合会 長野県遺族会 新潟県連合遺族会)
- 〔後援〕 山梨県 山梨県教育委員会 甲府市 甲府市教育委員会 NHK甲府放送局 テレビ山梨 日本ネットワークサービス エフエム富士 エフエム甲府



昭和三館 (厚生労働省委託)

もっと知りたい!

戦中・戦後の暮らし



建設中の東京タワー 昭和33年(1958)6月 毎日新聞社提供

昭和館では、常設展示室において「戦中・戦後の国民生活上の労苦」に係る歴史的資料を展示しております。

また、このような実物資料を活用した展覧会を各地でも開催してほしいという要望があり、平成13年から各地で実施してきたところ、このたび関係機関、各位のご協力をいただき、巡回特別企画展「もっと知りたい!戦中・戦後の暮らし」を、甲府市において開催する運びとなりました。

本展では、実物資料を中心に、厳しい時代を生き抜いた人々が綴った手記や、その姿を記録した写真を通じ、母や子、そしてその時代に生きた人々の様々な思いや、苦難の多かった暮らしを紹介します。

展示内容

- I 家族の別れ
- II 戦中の暮らし
 - 1.さまざまな統制 2.戦中の子どもたち 3.空襲、そして終戦
- III 戦争が終わって
 - 1.廃墟からの出発 2.遺された家族 3.戦後の子どもたち 4.復興に向けて
- IV 慰霊の旅
 - 1.遺骨収集帰還 2.慰霊巡拝

『戦史叢書』『陸軍・海軍部隊略歴』検索・閲覧コーナー

東京の昭和館では、4階の図書室において『戦史叢書』と『部隊略歴』を電子化し、検索端末にて情報の提供を行っております。巡回特別企画展では、本館と同様の検索・閲覧を行うことが可能です。なお、『戦史叢書』は各地の図書館に所蔵されていますが、パソコン上で検索できるシステムは当館独自のものです。

※『戦史叢書』とは、防衛研究所戦史室が編纂し、朝雲新聞社より出版された公刊戦史(全102巻)です。
※『陸軍・海軍部隊略歴』は、海軍省および厚生省(現・厚生労働省)援護局の各資料をもとに作成した陸海軍部隊の編成から行動の経歴を記しています。



子守りをしながら授業を受ける子ども・三富村(現・山梨市) 昭和29年(1954)~30年 朝倉隆撮影



要予約 学校団体(小・中・高)での見学にも対応します

昭和館は、戦没者遺族をはじめとする国民が経験した戦中・戦後(昭和10年頃から昭和30年頃までを対象としています)の国民生活上の労苦に係る歴史的資料・情報を収集、保存、展示し、後世代にその労苦を知る機会を提供する国立の施設です。

生徒のみなさんに昭和館の職員が展示解説を行います。展示解説は予約制(先着順)ですので、ご希望の学校は昭和館 学芸部(03-3222-2577/月曜休館)まで直接お申し込み下さい。



墨塗り教科書「初等科国語」

- ### 交通情報
- 電車ご利用の場合
JR中央本線および身延線で甲府駅下車、北口のペDESTリアンデッキ(歩行者専用道)を利用して徒歩3分。
 - 自動車ご利用の場合
中央自動車道「甲府・昭和IC」より国道20号線、昭和通り、平和通りを經由して、舞鶴通りの北側。(5km・15分)
- 【駐車場】図書館北側に153台収容の専用駐車場があります。(有料)
【駐車料金】○一般車 30分/150円 ○中型車 30分/600円
○大型車 30分/750円 (※バイク、自転車は無料の駐輪場があります。)



昭和館 お問い合わせ

学芸部 TEL.03-3222-2577 [月曜休館]